

REIF ふくしま 2019 「スマコミ事業ビジネス相談会」開催のご案内

地域資源循環による持続可能なスマートコミュニティの実現を目指して！

福島新エネ社会構想における柱の一つがスマートコミュニティ（以下スマコミ）の構築です。県内では既に5つの町村でスマコミの構築が進み、それに続く県内市町村でも事業可能性調査が実施されるなど、スマコミ事業がスタートしています。そこで今回のREIF ふくしま 2019 では初めての試みとして、SDGs にも関連する“再生可能エネルギーを活用した地域循環共生圏を目指すスマートコミュニティ”という、いま最もホットな課題をテーマにセミナー形式の相談会を企画しました。

本相談会は、①これから地域資源循環型のスマコミを進める市町村のご担当者、②その積極的なサポートを希望する県内のコンサル、設備計画・導入、施工そして運用などの再エネ関連産業の事業者が一同に会する場として設定いたしました。当日は、自治体の皆様が地域循環型のスマコミ実現に貢献できる県内企業の存在とポテンシャルを確認できるよう、一方事業者の皆様には市町村様の生の声から、事業提案と参入の機会を見出すことができるよう、双方のネットワークを作るための交流・相談の時間も設けることとしています。

今回はスマコミ事業を後押しする福島県からもご講演を頂戴します。ぜひたくさんのお名刺やパンフレットなどをご持参のうえ、この機会をお見逃しなく最大限にご活用ください。一同お待ちしております。

概要

日時 令和元年10月31日（木）13:00～15:10（名刺交換会含む）
場所 ビッグパレットふくしま 4F プレゼンルーム

第1回
エネルギーネットワーク
分科会

内容

1. 開会挨拶

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 エネルギーネットワーク分科会長

2. セミナー

1) 再エネを活用した地域へのスマートコミュニティモデル導入

「一自産自消型ビジネスモデルへの分水嶺」

福島県企画調整部エネルギー課

2) 県内スマートコミュニティの先進事例と事業化へのヒント

福島県葛尾村

3) 里山の森林資源を活用した公共型スマートコミュニティ

福島県伊達市

4) 地域資源を活用した木質バイオマス発電によるスマートコミュニティ

福島県金山町

5) バイオマス熱電併給による地域循環型スマートコミュニティ

福島県三島町

3. 名刺交換会

自治体ご担当様、再エネ関連企業様、研究団体様等による相談会（20分程度）

◆ お申込み方法 ◆

REIF ふくしまのホームページから参加登録をお願いいたします（別紙参照）

1. REIF ふくしまのホームページから参加登録をお願いいたします（URLは下記）

<http://reif-fukushima.jp/index.php>

◆ お申込み・お問い合わせ ◆

（公財）福島県産業振興センターエネルギー・エージェンシーふくしま
〒963-0215 福島県郡山市待池台 1-12
Tel:024-963-0121 Fax:024-963-0122 E-mail:e.a.fukushima@f-open.or.jp

地域スマートコミュニティの構築

資源経済の循環と災害に強い地域創生へ向けて

- Smart Community, 直訳では“賢い共同体”となるスマートコミュニティですが, 我が国では2010年に経済産業省が「次世代エネルギー・社会システム実証地域」として国内4箇所を選定したことで知られています.
- 当初は都市部の特定エリアが対象でしたが, 今日, 国内各地の市町村において戸建て住宅, 集合住宅, 商業施設, 公共施設, 工業団地などを含む様々なタイプのスマートコミュニティの構築が進められ, 規模も多様化し, その範囲は山間地から海沿いまで多岐に渡ります.
- とりわけ自産自消型の地域内エネルギーについては, 太陽光発電, 蓄電池, 熱と電気の併給, 自営線を使った地域内電力流通, バイオマスや温泉などによる未利用熱の有効活用, 農地と太陽光を兼用するソーラーシェアリング, 再生可能エネルギーを徹底活用するためのエネルギーマネージメントシステムなどが注目され, これは災害に強い地域を作るインフラにもなります.
- いまやIoT技術の進展で, さまざまなモノやサービスを安価に共有(シェアリング)できるようになり, この結果, 地域内のエネルギー需給を総合的に管理することでエネルギーの利活用を最適化する地域スマートコミュニティの概念が出来上がりつつあります.
- 我が国でも, 国連で採択された国際目標である”持続可能な開発目標(SDGs)”へ向けた取組が始まっています. 県内の市町村の皆様の声からは, ”地域の特色を生かした地域資源経済の循環が可能なスマートコミュニティ”が大きなキーワードになっています.
- REIFふくしま2019を一つのきっかけに, 県内のスマートコミュニティ構築が新たな段階に入ることが期待されています.



「参考」

- スマートコミュニティとは
 - https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/advanced_systems/smart_community/
- スマートコミュニティ 事例集 (2017,H29)
 - <https://www.meti.go.jp/press/2017/06/20170623002/20170623002-1.pdf>
- スマートコミュニティ構築へ向けた取り組み (2014,H26)
 - <https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/juyoukadai/energy/4kai/siryos3-3.pdf>

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会

令和元年度第2回太陽光分科会・エネルギーネットワーク分科会

～FIT改正後の電力市場と再エネ活用の最新動向～

FIT改正後の電力市場や再エネ活用について関心が高まっています。世界的に脱炭素とSDGsが叫ばれる中、再生可能エネルギーを活用した次世代型エネルギーネットワークの実現は大きな課題です。この流れは、IoTの導入が進む身近なネットワークの端末側から起きていくと予想され、普及拡大が進み社会基盤の一つとなりつつある太陽光発電（PV）の高信頼管理技術も重要課題となっています。しかし、海外での新たな事業モデル導入が進む一方で、我が国では供給側、需要側とも今後どのような準備をしていくべきかについて十分な理解は進んでいません。

このような状況を踏まえて、今回の太陽光・エネルギーネットワーク合同分科会では、電力市場形成や関連する分散電源技術の広がりに関する最新動向、それに向けて進められてきたVPPなどの実証の状況と課題、さらに分散電源技術の広がりに対応して進化しているPVシステムやバッテリーなどの最新技術動向について、各分野の専門家に紹介していただきます。

会員の皆様の抱える課題や疑問の解消に向けたヒントが詰まっています。多くの会員の御参加をお待ちしております。

【概要】

1 日時 令和2年1月21日（火）14:00～16:05（交流会 16:10～16:40）

2 会場（国研）産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
本館1階 FREAホール（郡山市待池台2-2-9）

3 内容

- | | |
|--|-------------|
| (1) 開会あいさつ | 14:00～14:05 |
| 福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会
エネルギーネットワーク分科会長 大谷 謙仁 | |
| (2) 電力市場の動向と課題－需要家の分散型電源によるエネルギーサービス－ | 14:05～14:45 |
| 早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 先進グリッド技術研究所
主任研究員（FREA客員研究員） 小林 延久 氏 | |
| (3) PV発電所向けIoTプラットフォームおよび
超小型自立分散型システムの最適化技術 | 14:45～15:25 |
| ヒラソル・エナジー株式会社 代表取締役 李 旻 氏 | |
| (4) 需要家の分散電源を支える大容量バッテリーシステムの最新動向 | 15:25～16:05 |
| 株式会社村田製作所 マネージャー 柳原 一晴 氏 | |

4 申込締切 令和2年1月17日（金）必着

5 募集定員 50名（先着順、定員になり次第終了）

6 参加費 無料（交流会参加は500円）

◆申込方法◆

当研究会へご入会の上、「参加申込書」に必要事項を記入し、メール又はFAXでお申し込みください。なお、研究会会員は、ホームページの会員サイトからお申し込みいただけます。

◆お申込み・お問い合わせ◆

〒963-0215 郡山市待池台1丁目12番地（福島県ハイテクプラザ内）

公益財団法人福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま

電話:024-963-0121 FAX:024-963-0122

[e-mail: e.a.fukushima@f-open.or.jp](mailto:e.a.fukushima@f-open.or.jp)

